



## グリーンボンド

### 気候変動への取り組み: 投資への大きな機会

気候変動は既に世界中の様々な地域に影響を及ぼしており、脆弱な地域への影響が最も深刻なものとなっています。極端な自然災害の影響で、年間5,200億ドル相当の消費が失われ、毎年2,600万人もの人々が貧困に陥っています。

低炭素で復元力のある世界経済へ秩序ある転換を行うためには数兆ドル規模の資金が必要と推計されています。このことは、気候変動対策投資を拡大し、グローバルな優先課題として取り組むために必要な創造力に大きな機会を提供します。新興市場における民間セクターを支援する最大の開発金融機関であるIFCは、環境に配慮したビジネスの成長を担い、金融セクターにおける環境志向を高めるため、民間企業と協働するにふさわしい立場にあります。2005年以降、IFCは気候関連プロジェクトに対して、自己勘定から183億ドルの長期投融資を行い、投資家とのパートナーシップを通じてさらに110億ドルの資金を動員しました。

### IFCのグリーンボンド・プログラム

IFCのグリーンボンドは、気候変動関連プロジェクトの支援につながる魅力的な投資機会を提供します。IFCのグリーンボンド・プログラムはグリーンボンド原則(GBP)に完全に沿ったものとなっています。

2017年11月現在、IFCは12の通貨建てで90本のグリーンボンド(70億米ドル超)を発行しています。

IFCは2010年にグリーンボンド・プログラムを立ち上げ、ベンチマーク規模のグリーンボンドを定期的に発行しています。2013年には2本のベンチマーク債(各10億米ドル)を発行し、発行当時グリーンボンド市場における最大規模の債券として先鞭をつけたことで、この市場の地盤固めに繋がりました。それ以降、人民元、南ア・ランド、インド・ルピーのような多様な通貨で積極的に起債する一方、グローバルなベンチマーク債市場でも活発に起債しています。

IFCはグリーンボンド原則(GBP)の創設メンバーであり、その執行委員会のメンバーにもなっています。

2015年以降、IFCは国際金融機関間で調整したインパクト・レポートの枠組みに基づき、毎年グリーンボンド・インパクト・レポートを公表しています。

世界銀行グループの一員であるIFC(国際金融公社)は、途上国の民間セクター支援に特化した世界最大規模の国際開発金融機関です。

IFCは民間セクター投資への投融資、国際金融市場における資金動員、企業や政府へのアドバイザリーサービスの提供を通じて、途上国における持続可能な成長の実現を支援しています。

IFCは新興市場における投資の収益性を証明することで、触媒的(catalytic)な役割を果たしています。

「貧困から逃れ、生活の向上を図る機会是谁にも与えられるべきである」というのがIFCのビジョンです。

### IFCの強み

- 世界銀行グループの一員
- 国際機関として唯一資本金が全額払込済
- 潤沢な資本と高い流動性による強固な財務基盤
- 世界120カ国、2,000社超の企業に対する投融資を行い、グローバルに分散したポートフォリオ
- バーゼル規制の下でIFCのリスク・ウェイトは0%
- 株主は184カ国の加盟国政府であり、資本金の50%超をAAA/AA格の国々が出資
- IFCは一貫してスタンダード・&・プアーズおよびムーディーズからAAA/Aaa(見通し「安定的」)の格付けを取得



## IFCグリーンボンド: 多様な気候関連プロジェクトを支援

IFCグリーンボンドからの調達資金は分別管理され、途上国における再生可能エネルギー、エネルギー効率化、その他気候変動対応プロジェクトを対象とした融資のみに使われます。



## モザンビーク: 太陽光発電能力の拡大

モザンビークは再生可能エネルギーによる推計23ギガワット(GW)を含む最大の発電能力を有し、南部アフリカ諸国の中で際立った存在です。国内のエネルギー需要が年率11%で伸びる一方で、同国の配電網はインフラ整備が追いついていません。その結果、電気を利用できるのは同国世帯の40%に過ぎず、地方ではさらに低い27%にとどまっています。この状況に対応するため、同国のモクバ地域に同国初となる40.5MW規模の太陽光発電所を設置するため、IFCは5,500万ドルの融資パッケージを提供しました。これはIFCにとりモザンビークの再生可能エネルギー分野における初の取り組みであり、サブサハラ・アフリカにおける初の太陽光発電プロジェクトとなりました。このプロジェクトにより、同国で最も開発の遅れている地域へ電力供給が可能となると期待されています。この投資はモザンビークの発電方法を多様化し、既存の長距離送電システムへの依存を減らすことにより、気候変動へ対応することに貢献します。

## 問い合わせ先

### 資金調達

Flora Chao · Manager · +65 6501 3636 · fchao@ifc.org

Marcin Bill · Senior Financial Officer · +1 202 473 7364 · mbill@ifc.org

Elena Panomarenko · Senior Financial Officer · +44 207 592 8532 · epanomarenko@ifc.org

Yuri Kuroki · Associate Financial Officer · +65 6501 3699 · ykuroki@ifc.org

Zaresh Kezheneva · Financial Analyst · +1 202 473 4659 · zkezheneva@ifc.org

### インベスター・リレーションズ(IR)

Kenichiro Shiozawa · Senior Investor Relations Officer · +81 3 3597 6699 · kshiozawa@ifc.org

Esohe Denise Odaro · Investor Relations Officer · +1 202 473 0958 · edodaro@ifc.org

### メディア(広報)

Emma-Kate Symons · Senior Communications Officer · +1 202 458 9563 · esymons@ifc.org

[www.ifc.org/investors](http://www.ifc.org/investors)

Bloomberg: IFC<GO>

IFC · 2121 Pennsylvania Avenue NW · Washington, DC 20433 USA · +1 202 473 8392

本文書はIFCが発行するいかなる債券の購入も勧誘あるいは推奨するものではありません。

IFCに関する追加的情報を知りたい方は、IFCのウェブサイト([www.ifc.org/investors](http://www.ifc.org/investors))を閲覧下さい。

## アルゼンチン: 公共交通手段の改善

ブエノスアイレス市は交通渋滞緩和のため、2016-2017年にかけて4億米ドルをかける野心的な交通輸送戦略を発表しました。IFCはブエノスアイレスで最も渋滞が激しい道路に沿って新たに建設する3.5kmのバス高速輸送ラインやバス接続ターミナル建設に融資しています。IFCの資金はEcobici自転車シェアリングネットワークに対する88カ所の新ステーション設置や33kmにわたる自転車専用レーン建設にも使われています。このプロジェクトにより、25万人の通勤者に対して効率的で利用しやすいバス輸送へのアクセス拡大・改善が実現されます。また、自転車シェアリングによる排出量削減分を除いて、年間794トン分の二酸化炭素排出を回避することに貢献します。



## グリーンとみなされる投資とは?

グリーンボンドによる調達資金の対象プロジェクトに関するIFCの選択基準はオスロ国際気候環境研究センター(CICERO)の認証を受けています。その基準は以下の通りです。

**再生可能エネルギー:** 太陽光、風力、水力、バイオマス、地熱、潮力やその他再生可能資源からのエネルギー利用を可能にする設備やシステムへの投資。

**エネルギー効率化:** 廃熱回収システムの設置、送配電損失の削減、エネルギー効率の高いモーター開発等、生産単位当たりのエネルギー消費削減に役立つ設備、システム、製品、サービスへの投資。

**その他:** 持続可能な林業・アグリビジネス、メタンの回収、フレア処理または利用、二酸化炭素回収・貯留のようなその他の方法で温室効果ガス(GHG)排出を削減する投資。

